

DERWENT-ACC-NO: 1999-233330

DERWENT-WEEK: 199920

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Bamboo powder containing sheet material for
undergarment
- has bamboo powder such as Mousou bamboo, true
bamboo,
light bamboo etc. filled in convex portion of
air
permeable sheet

PRIORITY-DATA: 1997JP-0226611 (August 22, 1997).

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 11061504 A	March 5, 1999	N/A
007 A41B 009/12		

INT-CL (IPC): A41B009/12, A61L002/16 , A61L009/01 , A61L009/12 ,
A61L009/16

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 11061504A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A convex shaped portion (1b) is formed on a base material
sheet (1a)
containing air permeable quality powders (2) of various bamboo such
as Mousou
bamboo, true bamboo, light bamboo etc. are filled.

USE - For undergarment.

ADVANTAGE - Prevents generation of microbes from sweat and urine.
Deodorizes
and gives comfort to wearer.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a plan view of bamboo
powder
filled sheet and sectional view of a housing of sheet. (1a) Base
material
sheet; (1b) Convex shaped portion; (2) Bamboo powders.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-61504

(43) 公開日 平成11年(1999) 3月5日

(51) IntCl⁹

識別記号

F I

A 4 1 B 9/12

A 4 1 B 9/12

C

B

A 6 1 L 2/16

A 6 1 L 2/16

Z

9/01

9/01

B

9/12

9/12

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 7 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願平9-226611

(22) 出願日

平成9年(1997) 8月22日

(71) 出願人 000108959

ダイシンフレーム株式会社

大阪府大阪市西区立売堀1丁目7番18号

(71) 出願人 592254113

神戸生絲株式会社

神戸市中央区明石町47番地

(72) 発明者 桜井 康雄

大阪府大阪市西区立売堀1丁目7番18号 ダイシンフレーム株式会社内

(72) 発明者 河合 啓晴

神戸市中央区明石町47番地 神戸生絲株式会社内

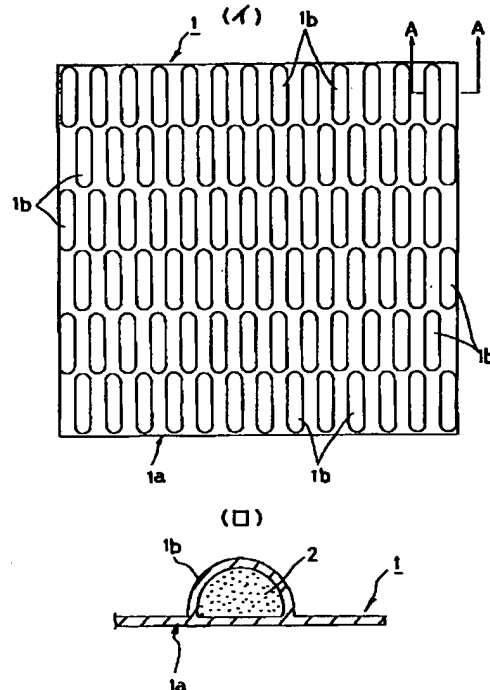
(74) 代理人 弁理士 藤本 昇 (外2名)

(54) 【発明の名称】 竹粉末含有シート材及び該竹粉末含有シート材を収納する収納体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、竹粉末を含有したシート材を、例えば人体の皮膚と長時間に渡って直に密着する様な肌着類に用いた場合において、極めて長時間に渡って肌身に着けて使用した場合や使用中に激しい発汗を伴うような事態が生じた場合であっても、効率よく湿気や水分を外部へ逃がすことが可能となって使用者に不快感を全く生じさせることなく頗る快適に使用することが出来、更に肌身に着けた肌着類が汗、尿等のアンモニア臭の消臭のみならず、汗及び尿の菌の繁殖を抑えているのを体感することが可能となって他製品との差別化をより明確にすることが出来る極めて優れた竹粉末含有シート材を提供するものである。

【解決手段】 通気性を有したベース体1aに多数設けられた膨出部1b内に孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等の各種竹類の竹粉末2を具備してなることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 通気性を有したベース体(1a)に多数設けられた膨出部(1b)内に孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等の各種竹類の竹粉末(2)を具備してなることを特徴とする竹粉末含有シート材。

【請求項2】 前記竹粉末(2)には、温感剤又は冷感剤の少なくとも何れか一方が含有されてなることを特徴とする請求項1記載の竹粉末含有シート材。

【請求項3】 前記温感剤が、カプサイシン又はワニリルアルコールのフェノールエーテル類の少なくとも何れか一方を用いてなることを特徴とする請求項2記載の竹粉末含有シート材。

【請求項4】 前記冷感剤が、メントールを用いてなることを特徴とする請求項2記載の竹粉末含有シート材。

【請求項5】 前記ベース体(1a)が不織布によって所定の形状に形成されてなり、しかも前記膨出部(1b)がエンボス加工によって形成された構成にしてなることを特徴とする請求項1乃至4の何れかに記載の竹粉末含有シート材。

【請求項6】 請求項1乃至5の何れかに記載の竹粉末含有シート材(1)を装着脱自在とすべく通気性を有した収納部(3b)を備えた竹粉末含有シート材を収納する収納体。

【請求項7】 前記収納体(3)が、人体等の腰、腹部等の所定の箇所に装着可能な伸縮性を有したサポーターに形成された構成にしてなることを特徴とする請求項6記載の竹粉末含有シート材を収納する収納体。

【請求項8】 前記収納体(3)が、人体等の所定の箇所に巻き付け可能な長さを有すると共に、巻き付けられて重合する収納体本体(3a)の端面部(3c)には、重合する夫々の端面部(3c)に係着脱自在とするための係着脱手段が設けられてなることを特徴とする請求項6又は7記載の竹粉末含有シート材を収納する収納体。

【請求項9】 前記収納体(3)の収納部(3b)が、所定方向に伸縮自在な帯状体(5)を用いてポケット状に形成されてなることを特徴とする請求項6乃至8の何れかに記載の竹粉末含有シート材を収納する収納体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、脱臭抗菌性に優れた竹粉末含有シート材及び該竹粉末含有シート材を収納する収納体に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、種々の脱臭抗菌性に優れた布製品が存在し、本件出願人も特開平6-73665号(特願平4-273778号)において竹微粉末含有布製品を出願している。

【0003】即ち、かかる発明は、不織布、織物又はニット製品の片面の少なくとも一部に孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等各種竹類の表皮並びに表皮に近い甘皮部分を

主成分とする竹微粉末を含有する繊維用接着剤にて表面処理してなる竹微粉末含有布製品に関するものである。

【0004】上記構成からなる竹微粉末含有布製品によれば、脱臭及び抗菌性に優れた表皮及び甘皮部分を主体とする竹微粉末が繊維用接着剤等を介して生布の表面に接着していることから、竹微粉末の脱臭及び抗菌効果が洗濯とともに徐々に発揮される徐放性が見られ、特に衣料品として重要な洗濯耐性に優れた脱臭及び抗菌性の持続する商品を提供することが出来るものである。

【0005】従って、例えば、上記竹微粉末含有布製品を医療用シーツとして使用すれば、汗、尿等のアンモニア臭を消臭出来るだけでなく、汗及び尿の菌の繁殖を抑え、長期に渡って衛生的に優れるだけでなく使用感にも優れた商品となり、又肌着等に使用すれば、脱臭効果と抗菌性により体臭の発生を効果的に抑制することが出来る利点がある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】然しながら、上記竹微粉末含有布製品を、例えば人体の皮膚と長時間に渡って直に密着する様な肌着類に用いた場合に於いては、下記の問題があった。

【0007】即ち、上記肌着類に用いられる竹微粉末含有布製品は、不織布、織物又はニット製品の片面の少なくとも一部に孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等各種竹類の表皮並びに表皮に近い甘皮部分を主成分とする竹微粉末を含有する繊維用接着剤にて表面処理してなるものである。

【0008】よって、人体の皮膚と密着状態をなした場合に、ある一定の時間内での使用や激しい発汗を伴わない程度内での使用であれば、汗、尿等のアンモニア臭の消臭のみならず、汗及び尿の菌の繁殖を抑えることで、脱臭効果と抗菌性による体臭の発生を効果的に抑制することは出来るが、如何せん、極めて長時間に渡って肌身に着けて使用した場合や使用中に激しい発汗を伴うような事態が生じた場合には、竹微粉末を含有する繊維用接着剤を介して表面処理が施された肌着類は、効率よく湿気や水分を外部へ逃がすことが出来なくなり、しいては使用者に不快感を生じさせるという問題が生じていた。

【0009】更に、上記竹微粉末含有布製品が肌着類に用いられたものを購入すべく消費者が決心する場合に於いて、肌身に着けた肌着類が本当に汗、尿等のアンモニア臭の消臭のみならず、汗及び尿の菌の繁殖を抑えているのかを何らかの手段を用いて確認することができたり、又体感することが出来れば商品購入の上で他製品との差別化をより明確にすることが可能となる。

【0010】よって、商品販売戦略の上からも竹微粉末含有布製品を用いた肌着類等の衣料品に何らかの付加価値を具備させることが急務であった。

【0011】然して、本発明は、上記の問題を全て解決するものであり、竹粉末を含有したシート材を、例えば

人体の皮膚と長時間に渡って直に密着する様な肌着類に用いた場合に於いて、極めて長時間に渡って肌身に着けて使用した場合や使用中に激しい発汗を伴うような事態が生じた場合であっても、効率よく湿気や水分を外部へ逃がすことが可能となって使用者に不快感を全く生じさせることなく頗る快適に使用することが出来、更に肌身に着けた肌着類が汗、尿等のアンモニア臭の消臭のみならず、汗及び尿の菌の繁殖を抑えているのを体感することが可能となって他製品との差別化をより明確にすることが出来る極めて優れた竹粉末含有シート材及び該竹粉末含有シート材を収納する収納体を提供することを課題とするものである。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決するために以下の手段を講じたものである。即ち、本発明における竹粉末含有シート材は、通気性を有したベース体1aに多数設けられた膨出部1b内に孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等の各種種類の竹粉末2を具備してなることから、竹粉末2を含有したシート材1を、例えば人体の皮膚と長時間に渡って直に密着する様な肌着類に用いた場合に於いて、極めて長時間に渡って肌身に着けて使用した場合や使用中に激しい発汗を伴うような事態が生じた場合であっても、皮膚と接触してなる通気性を有した各膨出部1bの先端部（頂上近傍の円弧状部）を介して該皮膚との接触面積を極めて少なくすることが可能となるだけでなく、各膨出部1b間の空間部が通気路を形成し、しかも各膨出部1b及び該膨出部1bを備えたベース体1aが通気性を有してなることから、極めて効率よく湿気や水分を外部へ逃がすことが可能となって使用者に不快感を全く生じさせることなく快適に使用することが出来る利点がある。

【0013】更に、本発明における竹粉末含有シート材に具備された竹粉末2には、温感剤又は冷感剤の少なくとも何れか一方が含有されてなることから、肌身に着けた肌着類が汗、尿等のアンモニア臭の消臭のみならず、汗及び尿の菌の繁殖を抑えているのを体感することが可能となって他製品との差別化をより明確にすることが出来る利点がある。

【0014】更に、本発明における竹粉末含有シート材に具備された竹粉末2に含有された温感剤が、カプサイシン又はワニリルアルコールのフェノールエーテル類の少なくとも何れか一方を用いてなることから、接触する皮膚に対して温熱感を伴う刺激を与えることが出来る利点がある。

【0015】更に、本発明における竹粉末含有シート材に具備された竹粉末2に含有された冷感剤が、メントールを用いてなることから、接触する皮膚に対して冷感や清涼感を伴う刺激を与えることが出来る利点がある。

【0016】又、本発明における竹粉末含有シート材のベース体1aが不織布によって所定の形状に形成され、し

かも該ベース体1aに設けられた膨出部1bがエンボス加工によって形成されてなることから、通気性及び吸水性を両立させつつ製造工程を簡略し、その結果として製造コストを低減させることが出来る利点がある。

【0017】更に、本発明は、竹粉末含有シート材1を装着脱自在に収納すべく通気性を有した収納部3bを備えた収納体3を用いることから、該収納体3を、例えば各種肌着類等の衣料品に加工して使用した場合において、収納体3内に収納された竹粉末含有シート材1の効能が低下したり、又なくなった際に該竹粉末含有シート材1を入れ替えることにより、何度でも効能を延命させることが出来る利点がある。

【0018】更に、本発明における収納体3が、人体等の腰、腹部等の所定の箇所に装着可能な伸縮性を有したサポーターに形成された構成にしてなることから、折曲自在な手足等の関節部のみならず膨縮する筋肉部を有した人体の局部に瞬時に適応させて装着することが出来る利点がある。

【0019】又、本発明における収納体3が、人体等の所定の箇所に巻き付け可能な長さを有すると共に、巻き付けられて重合する収納体本体3aの端面部3cには、重合する夫々の端面部3cに係着脱自在とするための係着脱手段が設けられてなることから、腰、腹、手足、首等に瞬時に、しかも簡単に収納体3を巻装したり、取り外すことが出来る利点がある。

【0020】更に、本発明における収納体3の収納部3bが、所定方向に伸縮自在な帯状体5を用いてポケット状に形成されてなることから、収納体3を人体の所定の箇所に巻き付ける場合に於いて、収納体3全体の締めつけ力及び収納部3b内に収納された竹粉末含有シート材1と肌との接触圧及び面積を調整することが出来る利点がある。

【0021】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態を図面に従って説明する。図1に於いて、1はベース体1aを通気性を有した不織布（ポリプロピレンを原料）で形成すると共に、該ベース体1aの一面側に多数の平面視略長丸状の膨出部1bをエンボス加工を介して千鳥状に並設し、しかも該膨出部1b内に温感剤であるカプサイシンを含有加工した孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等の各種種類の竹粉末2を具備し、且つ全体を略矩形状に切断加工された竹粉末含有シート材を示す。

【0022】図2に於いて、3は上記略矩形状に切断加工された竹粉末含有シート材1を装着脱自在に収納可能な収納部3bを備えた収納体を示し、人体の腰や腹部に巻き付け可能な長さに形成され、且つ人体の腰や腹部に巻き付けられて重合する収納体本体3aの一面側に位置する一方の端面部3cには、略半円状の面ファスナー4が設けられ、且つ該面ファスナー4が設けられた収納体本体3aの一面側に位置する一方の端面部3cと重合する収納体本

体3aの他面側に位置する他方の端面部3cには、前記一方の端面部3cの面ファスナー4と係着脱自在に係着面部4a（係着脱手段）が設けられてなる。

【0023】尚、前記収納体3は全体を伸縮性及び通気性を備えた綿ニットで形成され、しかも前記収納部3bが設けられた収納体本体3aの一面側は、該収納部3bに収納された竹粉末含有シート材1に設けられた各膨出部1bの先端部の一部又は一点部だけでも該一面側に接触する肌等に接することが出来る位の薄さ及び編み目で形成され、しかも該収納体本体3aの収納部3bに位置する他面側の中央部には、ナイロン、ポリウレタン等の樹脂材を所定の編成加工を介して収納体本体3aの長手方向に沿って伸縮自在な多数の帯状体5が一方の端面部3cと他方の端面部3cとを接続するように並設されることで前記収納部3bをポケット状に形成してなる。

【0024】3dは前記収納部3bへ竹粉末含有シート材1を収納したり又取り出したりする際の開口部を示し、開口面積を拡張可能に形成されてなる。

【0025】本実施形態に於ける竹粉末含有シート材及び該竹粉末含有シート材を収納する収納体は以上の構成からなり、次に、該竹粉末含有シート材を収納した収納体を、例えば腹帯として用いた場合について説明する。

【0026】先ず、前記収納体を人の腹部に巻付けた（図示せず）場合に於いて、巻き付けられて重合する収納体本体3aの端面部3cには、重合する夫々の端面部3cに係着脱自在とすべく係着脱手段としての面ファスナー4及び係着面部4aが設けられてることから、瞬時に、しかも簡単に収納体3を腹部に巻装させたり、又取り外すことが出来るという利点が生じるが、必ずしも腹部に限らず腰、腕、足等の何れでも簡単に巻装させることが出来、よって使用用途や使用箇所を一切限定することなく幅広く用いることが出来る使用上の利点がある。

【0027】更に、前記収納体3は全体を伸縮性及び通気性を備えた綿ニットで形成され、しかも該収納体3に設けられた収納部3bが、収納体本体3aの長手方向に沿って伸縮自在に並設された多数の帯状体5を用いてポケット状に形成されてることから、収納体3全体の腹部締めつけ力及び収納部3b内に収納された竹粉末含有シート材1と肌との接触圧及び面積を調整することが出来、よって老若男女及び体型の問題等を一切問わず全ての人に幅広く巻装させて使用することが出来る利点がある。

【0028】尚、上記の如く腹帯として用いられた収納体3の収納部3b内には、通気性を有したベース体1aに多数設けられた膨出部1b内にカプサイシンを含有加工した孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等の各種竹類の竹粉末2が具備された竹粉末含有シート材1が収納されてなり、しかも該竹粉末含有シート材1のベース体1aが不織布を用いて形成され、しかも該ベース体1aに設けられた膨出部1bがエンボス加工によって形成されてなるものである。

【0029】よって、極めて長時間に渡って肌身に着け

て使用した場合や使用中に激しい発汗を伴うような事態が生じた場合であっても、収納体本体3aの収納部3bに収納された竹粉末含有シート材1に設けられた通気性を有する各膨出部1bの先端部（円弧状）により該皮膚との接触面積を極めて少なくすることが可能となるだけでなく、各膨出部1b間の空間部が通気路を形成し、しかも各膨出部1b及び該膨出部1bを備えたベース体1aが通気性を有してることから、極めて効率よく湿気や水分を外部へ逃がすことが可能となって使用者に不快感を全く生じさせることなく快適に使用することが出来る利点を有するばかりでなく、竹粉末2に含有された温感剤であるカプサイシンを介して接触する皮膚に対して温熱感を伴う刺激を与えることが出来、よって使用者が肌身に着けた腹帯が汗等の消臭のみならず、汗の菌の繁殖を抑えているのを体感することが可能となって他製品との差別化をより明確にすることが出来る製品上の利点がある。

【0030】尚、上記実施形態に於いて、竹粉末含有シート材1のベース体1aが不織布によって形成され、しかも該ベース体1aに設けられた膨出部1bがエンボス加工によって形成されてることから、通気性及び吸水性を両立させつつ製造工程を簡略し、その結果として製造コストを低減させることが出来る利点がある。

【0031】更に、上記実施形態に於いて、竹粉末含有シート材1は、人体の皮膚と長時間に渡って直に密着する様な腹帯として使用される収納体3の収納部3b内に収納されて使用されてなるが、必ずしも腹帯に限定されるものではなく、例えば収納体3を人体等の腰、腹部等の所定の箇所に装着可能な伸縮性を有するサポーター（図示せず）として用いてもよく、この場合には、折曲自在な手足等の関節部のみならず膨縮する筋肉部を有した人体の局部に収納体3を瞬時に適応させて装着することが出来る利点があるが、この場合に於いて、収納体3が伸縮自在な環状体（図示せず）に形成されていてもよく、よって収納体3の具体的な使用用途における形状や係着脱手段の有無も一切限定されない。

【0032】更に、上記竹粉末含有シート材1は通気性を有した収納部3bを備えた収納体3に収納されて使用されることから、該収納体3を、例えば各種肌着類等の衣料品（図示せず）に加工して使用した場合において、収納体3の収納部3b内に収納された竹粉末含有シート材1の効能が低下したり、又なくなった際に該竹粉末含有シート材1を入れ替えることにより、何度でも効能を延命させることが出来る利点がある。

【0033】更に、上記実施形態に於いて、例えば、腹帯に限らず各種肌着類等の衣料品（図示せず）等に加工された収納体3の収納部3b内に収納された竹粉末含有シート材1の膨出部1b内に具備された竹粉末2には、温感剤としてカプサイシンが用いてることにより、肌身に着けた肌着類が汗、尿等のアンモニア臭の消臭のみならず、汗及び尿の菌の繁殖を抑えているのを体感すること

が可能となって他製品との差別化をより明確にすることが出来る利点を有するが、必ずしも温感剤がカプサイシンに限定されるものではなく、例えば温感剤にワニリアルコールのフェノールエーテル類を用いてもよく、この場合であっても接触する皮膚に対して温熱感を伴う刺激を与えることが出来る利点がある。

【0034】更に、上記実施形態に於いて、竹粉末含有シート材1の膨出部1b内に具備された竹粉末2には温感剤が用いられてるが、必ずしも温感剤に限定されるものではなく、例えば、竹粉末2に冷感剤であるメントールが含有されていてもよく、この場合であっても接触する皮膚に対して冷感や清涼感を伴う刺激を与えることが出来、よって肌身に着けた肌着類が汗、尿等のアンモニア臭の消臭のみならず、汗及び尿の菌の繁殖を抑えているのを体感することが可能となって他製品との差別化をより明確にすることが出来る利点を有するが、必ずしも冷感剤がメントールである必要はなく、他の種類の冷感剤を用いてもよく、要は竹粉末含有シート材に具備された竹粉末2に、温感剤又は冷感剤の少なくとも何れか一方が含有されていれば温感剤又は冷感剤の具体的な種類は一切問うものではないが、竹粉末2に温感剤又は冷感剤を含有することが必ずしも本発明の必須の要件でないのは言うまでもない。

【0035】更に、上記実施形態に於いて、所定の大きさに切断加工された竹粉末含有シート材1は、腹帯に限らず各種肌着類等の衣料品（図示せず）等に加工された収納体3の収納部3b内に収納されて使用されるが、必ずしも収納体3の収納部3b内に収納して使用されなくともよく、例えば竹粉末含有シート材1を直接肌に接触させて使用してもよく、この場合であっても、極めて長時間に渡って肌身に着けて使用した場合や使用中に激しい発汗を伴うような事態が生じた際に、皮膚と接触してなる通気性を有した各膨出部1bの先端部（頂上近傍の円弧状部）を介して該皮膚との接触面積を極めて少なくすることが可能となるだけでなく、各膨出部1b間の空間部が通気路を形成し、しかも各膨出部1b及び該膨出部1bを備えたベース体1aが通気性を有してなることから、極めて効率よく湿気や水分を外部へ逃がすことが可能となって使用者に不快感を全く生じさせることなく快適に使用することが出来る利点がある。

【0036】更に、上記実施形態に於いて、竹粉末含有シート材1は、ベース体1aを通気性を有した不織布で形成すると共に、該ベース体1aの一面側に多数の膨出部1bをエンボス加工を介して千鳥状に並設し、しかも該膨出部1b内に孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等の各種竹類の竹粉末2を具備してなるが、必ずしもベース体1aが不織布で形成される必要はなく、要は具体的な材質を一切限定されなく通気性を有した材質からベース体1aが形成されると共に、該ベース体1aに各種竹類の竹粉末2を具備した多数の膨出部1bが設けられていれば、多数の膨出

部1bが千鳥状に並設される必要もなく、例えば一定の間隔を有して直線状（図示せず）に設けられたり、又多数の膨出部1bが一定の間隔を有して螺旋状や放射状（図示せず）に設けられていてもよく、この場合であっても、皮膚と接触してなる通気性を有した各膨出部1bの先端部（頂上近傍の円弧状部）を介して該皮膚との接触面積を極めて少なくすることが可能となるだけでなく、各膨出部1b間の空間部が通気路を形成すると共にベース体1a自体も通気性を有してなることから、極めて効率よく湿気や水分を外部へ逃がすことが可能となって使用者に不快感を全く生じさせることなく快適に使用することが出来る利点がある。

【0037】更に、上記実施形態に於いて、膨出部1bはエンボス加工を介して平面視略長丸状に形成されてるが、必ずしも平面視略長丸状に限定されるものではなく、例えば、膨出部1bが内部に各種竹類の竹粉末2を具備した円柱状や円錐状又は平面視略波状等各種形状に形成されていてもよく、要は通気性を有したベース体1aに多数の膨出部1bが設けられ、しかも該膨出部1b内に各種竹類の竹粉末2が具備されていれば、該膨出部1bの具体的な形状や配設パターン及び各膨出部1bの間隔や配設数量も決して限定されるものではなく、又該膨出部1bも吸引や押圧のみならず熱によって膨出させてもよく、該膨出部1bの具体的な形成手段も一切限定されないのは言うまでもない。

【0038】更に、上記実施形態に於いて、膨出部1b内には、孟宗竹、眞竹、唐竹、淡竹等の各種竹類の竹粉末2が具備されてるが、該竹粉末2に各種の活性化加工処理等が施されていてもよく、又竹粉末2の大きさも粉状、チップ状等一切限定されないのは言うまでもない。

【0039】

【発明の効果】叙上のように、本発明は、竹粉末を含有したシート材を、例えば人体の皮膚と長時間に渡って直に密着する様な肌着類に用いた場合等に於いて、極めて長時間に渡って肌身に着けて使用した場合や使用中に激しい発汗を伴うような事態が生じた場合であっても、効率よく湿気や水分を外部へ逃がすことが可能となって使用者に不快感を全く生じさせることなく頗る快適に使用することが出来、更に肌身に着けた肌着類が汗、尿等のアンモニア臭の消臭のみならず、汗及び尿の菌の繁殖を抑えているのを体感することが可能となって他製品との差別化をより明確にすることが出来る極めて優れた竹粉末含有シート材及び該竹粉末含有シート材を収納する収納体を提供することが出来るという格別な効果を有するに至った。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に於ける竹粉末含有シート材を示し、(イ)は平面図、(ロ)は(イ)のA-A線断面図。

【図2】本発明の竹粉末含有シート材を収納する収納体を示し、(イ)は正面図、(ロ)は背面図。

【符号の説明】

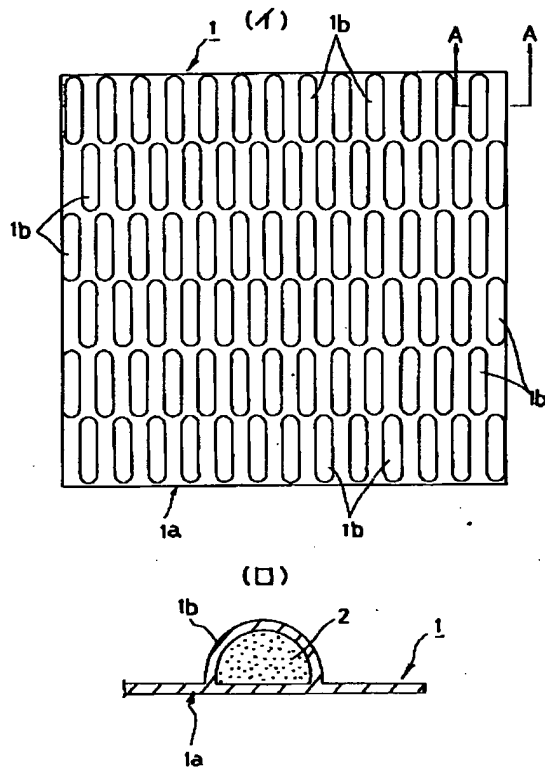
1…竹粉末含有シート材

1a…ベース体

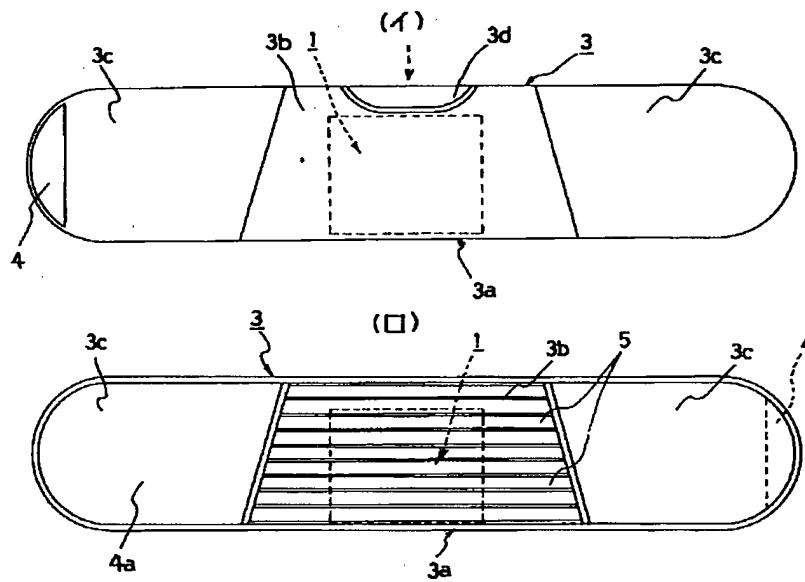
2…竹粉末

3…収納体

【図1】



【図2】



(7)

特開平11-61504

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 6 1 L 9/16

A 6 1 L 9/16

D